

# きたすま

父親は息子を見つけて、憐れに思い、  
走り寄って首を抱き、接吻した (ルカ 15・20)

No.225 (4月号)

2022年 3月27日発行  
発行 カトリック北須磨教会  
〒654-0151  
神戸市須磨区北落合2-3-1  
発行人 高橋 聡  
編集 広報委員会

## 開かれた「墓」

垂水教会担当司祭 林 和則 神父

「墓」は本来けっして開くことのないものです。もし開いてしまえば人間ではなく、バケモノの世界になってしまいます。人間にとっての究極の行き止まり、人間の持つ可能性が完全に絶たれた場所、それが「墓」なのです。「墓」はまた、目に見える「死」のしるしです。私たちが受け入れたくない、愛する人や身近な人の死をありありと目の前に突きつけるのが「墓」です。私たちがと死者の間に厳然として立ちふさがっている境界線ともいえます。

イエス様の時代のユダヤでは墓は横穴が用いられ、その入り口を大きな岩でふさぎました。その大岩から私は古事記のイザナギ、イザナミの神話を思い出します。妻のイザナミの死を受け入れることのできないイザナギは死者の国である黄泉(よみ)の国に行きます。けれどもそこで見たイザナミの腐乱した姿に恐れおののいて逃げ出します。自分のみにくい姿を見られた恥ずかしさ、悔しさ、悲しさなどが無いまぜになったイザナミは怒り狂い、黄泉の国のバケモノらと共にイザナギを追いかけます。イザナギは何とか入口にたどり着き、そこに大きな岩を置いて、も

う二度と生者と死者が行き来することができないようにします。イエス様の墓をふさいだ大岩もこのように、イエス様と弟子たち、女性たちを絶望的に隔てるものでした。そしてイエス様の生命、活動の可能性が完全に絶たれたことのしるしでした。

それをイエス様は開かれたのです。人間存在の究極の行き詰まり、可能性が完全に絶たれた場所、「墓」を開いてくださったのです。しかも開かれた「墓」の中はバケモノの世界ではなく、光に満ちた新しい世界でした。これが「復活信仰」です。これによって私たちは終わりのある命ではなく、永遠の命への希望を持ちました。それはまた私たちの可能性が終わることなく永遠に向けてどこまでも開かれていくという希望なのです。この世界がもし「死」で終わってしまうならば、「なぜ」「どうして」という不条理な「死」が無数にあります。けれども、「死」は終わりではないという信仰によって、いつか私たちはその人たちと出会う、その意味がわかる時が来る可能性を信じ希望を抱くことができるのです。

**アレルヤ唱(詠唱)**

**立つ**

一同は起立し、アレルヤ唱(詠唱)を歌う。(\*1)

**福音朗読**

助祭あるいは司祭は言う。

主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。(\*2)

〇〇〇による福音。

会衆は助祭あるいは司祭とともに、額、口、胸に十字架のしるしをして、はっきりと唱える。(\*3)

会衆 主に栄光。

福音朗読が終わると、助祭あるいは司祭は朗読福音書を両手で掲げてはっきりと唱える。

主のみことば。(\*4)

一同 キリストに賛美。

**説教**

**座る**

すべての主日と守るべき祝日には説教が行わる。他の日にも勧められる。

**信仰宣言**

**立つ**

すべての主日と祭日、特別な祭儀には以下のいずれかの信条を歌うかまたは唱えて信仰宣言を行う。(\*5)

**ニケア・コンスタンチノーブル信条**

わたしは信じます。唯一の神、全能の父、天と地、見えるもの、見えないもの、(中略)

主は、わたしたち人類のため、わたしたちの救いのために天からくだり、

以下、「人となりました」まで一同は礼をする。(\*6)

聖霊によって、おとめマリアよりからだを受け、人となりました。(中略)

罪のゆるしをもたらす唯一の洗礼を認め、死者の復活と来世のいのちを待ち望みます。アーメン。

**使徒信条**

天地の創造主、全能の父である……(中略) わたしたちの主イエス・キリストを信じます。

以下、「おとめマリアから生まれ」まで一同は礼をする。(\*7)

主は聖霊によってやどり、おとめマリアから生まれ、

ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられて死に、葬られ(以下略)

**共同祈願(信者の祈り)**

共同祈願すなわち信者の祈りを行う。会衆は各意向の後に応唱(\*8)もしくは沈黙の祈りをもって祈りを自分のものとする。司祭の結びの祈りの後に会衆ははっきりと唱える。

会衆 アーメン。

## 新しいミサの式次第解説(3)

北須磨教会典礼委員会

左の式次第は今年の待降節第一主日(2022.11.27)から使用される新しい式文です。

- 司式者と会衆の応答以外は斜体にして分かりやすくしました。
- 今回の変更箇所と、注意すべき点所をゴシック体で示しています。
- 本文中の(\*○)と解説の(\*○)は対応するコメントを示します。

- \*1: アレルヤ唱も答唱詩編と同じく一同は「アレルヤ」を歌い、詩編唱者は詩編を歌う。  
詩編唱者がいないときは先唱者が唱える。
- \*2: 開祭のあいさつと同じ。以下も同様。
- \*3: 会衆の十字架の印はこれまでバラバラだったが今回明記、統一された。
- \*4: 福音朗読後の司祭の言葉はこれまで会衆と同じ「キリストに賛美」だったが、今回司祭は「主のみことば」会衆はこれまでと同じ「キリストに賛美」となった。  
第一、二朗読の後は「神のみことば」福音朗読の後は「主のみことば」となる。
- \*5: 信仰宣言はすべての主日と祭日、特別な祭儀に「ニケア信条」「使徒信条」のいずれかと示されています。司式者がどちらを選ばれても対応できるようにしておきましょう。
- \*6: 信条の中の「聖霊によって」から「人となられました」まで礼をすることも明記されました。
- \*7: 使徒信条でも同様。
- \*8: 共同祈願の意向は 1)教会の必要のため 2)国政に携わる人々と全世界の救いのため 3)困難に悩む人々のため 4)それぞれの共同体のため となっています。例文通りである必要はありません。特に「それぞれの共同体のため」は折々の状況に合わせて(北須磨では先唱者が)用意した意向を唱えましょう。

第3回はここまでです。続きは次回に。(文責 H)

## 堅信式を受けて

FZS

今回のけんしんを受けて本当に良かったです。神様のことをたくさん勉強してけんしんを受けたことが良かったと思います。

今回のけんしんで協力してくれた神父様や僕のことを支えてくださった方々に感謝しています。これからも今まで勉強したことを忘れずに神の子として生きていきたいです。

エリザベト MT

2月13日に堅信の秘跡を授かりました。実は洗礼を受けてから4年経っております。移動その他諸事情と、私自身の心のゆらぎにより、堅信を受けるのが

遅くなってしまいました。

高橋神父様による勉強会、ロザリオの祈り、聖書を読む会の参加と、色々と機会に恵まれて、改めて「聖霊が働いて下さった事」を身をもって感じる事ができるようになりました。

思えば今まで生きてきた中で、イエス様にどれだけ助けていただいたか数知れません。今改めて「私は神を信じます」と言うことができます。

北須磨までお越し下さった酒井司教様、高橋神父様、そしてこんな私の代母を快く引き受けて下さった大西様、当日温かく祝福して下さいました。皆様に心より感謝を致します。

どうもありがとうございました



### 十字架の道行



北須磨教会では、長年にわたって、四旬節中の金曜日に「十字架の道行き」が行われています。現在は、教皇様のご指導のもとでイエズス会が作ったテキストを用い、各留ごとに参加者が福音書を輪読し、皆で祈りのことばを捧げる形で行われています。

受難の道のりを一つ一つ丁寧にたどることで、深い祈り・黙想の時間を持つことができます。今年は4月8日まで行われます。皆様もご参加されてはいかがでしょうか。



評議会より

- 聖木曜日(14日 18:30~)、聖金曜日(15日 15:00~)はご希望の方は参加できます。
- 復活徹夜祭(16日)、復活の主日(17日)の参加をご希望により割振りました。レターケースにお知らせの用紙を入れてありますのでご確認ください。
- シノドスのアンケートの回答を4月17日までにお願いします。提出は聖堂入り口の箱の中へ
- 2月末より4回に渡り、エアコン設置説明会をおこないました。ご参加ありがとうございました。
- 5月15日(日)ミサ後に評議会を開催します。

高齢者支援委員会

4月3日ミサ後、高齢者支援委員会を開催いたします。

編集後記

☆コロナ禍で春を迎えるのが3年目になろうとしています。マスクをする習慣が身に着いたせいか、この季節になると毎年ひどくなる花粉症も少しましになりました。☆  
☆ウクライナの戦争が始まって1か月になりました。この間4人に一人が難民として国外へ。ロシアとウクライナの平和のために祈りたいと思います。☆ (GTH)

お知らせ

☆社会福祉支援基金ご報告☆

今年もコロナの影響で従来のバザー収益、コーヒー販売他の収入がなく、社会活動委員会からの10万円と皆さまのクリスマス献金82,668円、空缶回収の5,600円のみで純増は188,158円となりました。

そのため昨年と同様、11箇所18万円の支援を行うことと致しました。支援先と年間収支は下記のとおりです。

今後も皆さまの大きなご支援をよろしくお願いいたします。(KH記)

	支援先名	金額
1	社会活動神戸センター	50,000
2	神戸の冬を支える会	30,000
3	こどもの里	10,000
4	コムニタス	10,000
5	阪神カトリック女性の会(いのちを守る運動基金)	10,000
6	東条湖の家(NPOノア)	10,000
7	日本カトリック難民移住者委員会	10,000
8	ふるさとの家	10,000
9	AICJapan ウォーター&フードアジア	10,000
10	釜ヶ崎・出会いの家	10,000
11	船員司牧活動	20,000
	合計	180,000

	2021年度	2020年度
前年度繰越	53,522	36,442
北須磨教会支援金	100,000	100,000
クリスマス献金	82,668	56,000
昨年度支援金戻入	0	20,000
コーヒー販売	0	0
アルミ缶回収	5,600	4,080
個人献金他	0	17,000
収入計	188,268	197,080
支援金	180,000	180,000
手数料他	275	0
支出計	180,275	180,000
次年度繰越	61,515	53,522

# マンスリースケジュール4月



日・曜日	2022	
4/1 金		主日の聖書を読む会 14:00～
2 土		ロザリオの祈り 14:00～
<b>3 日</b>	四旬節第5主日	ミサ10:00～ 第1・6B・7地区
4 月		
5 火		
6 水		
7 木		
8 金	十字架の道行 13:30～14:00	主日の聖書を読む会 14:00～
9 土		ロザリオの祈り 14:00～
<b>10 日</b>	受難の主日(枝の主日)	ミサ10:00～ 第3・6A地区
11 月		
12 火	炊き出し 9:30～	
13 水		
14 木	聖木曜日(主の晩餐) 18:30～	※どなたでも参加できます
15 金	聖金曜日(主の受難) 15:00～ (大斎・小斎)	※どなたでも参加できます
16 土	聖土曜日・復活徹夜祭	ミサ18:30～
<b>17 日</b>	復活の主日	ミサ10:00～ シドスアンケート締切
18 月		
19 火		
20 水		
21 木		
22 金		主日の聖書を読む会 14:00～
23 土		ロザリオの祈り 14:00～
<b>24 日</b>	復活節第2主日	ミサ10:00～ 第2・5地区
25 月		
26 火		
27 水		
28 木		
<b>29 金</b>	昭和の日	主日の聖書を読む会 14:00～
30 土		ロザリオの祈り 14:00～
<b>5/1 日</b>	復活節第3主日	ミサ10:00～ 第1・4地区

注)大阪教区からの新しい通達があるまでは上記ローテーションでのミサ参加となります。

カトリック北須磨教会ホームページ <http://cathkitasuma.web.fc2.com>

葬儀用電話の運用は終了しました。緊急時は高橋神父(090-6329-5709)にご連絡ください。



◇ミサに与る時は、マスクを着用し、手指の消毒を心がけてください。

◇「聖書と典礼」はご自分の分を持参してください。